

2019年度化学物質環境実態調査結果 地域別データ

調査名: 初期環境調査
 調査媒体: 水質(ng/L)
 地方公共団体: 福岡市
 調査地点: 博多湾

調査対象物質	測定値	報告時 検出下限値	検出下限値
[1] アジスロマイシン	nd	1.5	1.7
[4] アモキシシリン	0.076	0.013	0.013
[7] 3-[[[(ジメチルアミノ)カルボニル]オキシ]-1-メチルピリジニウム (別名: ピリドスチグミン)	0.25	0.043	0.043
[9] <i>N,N</i> -ジメチルピグアニド塩酸塩 (<i>N,N</i> -ジメチルピグアニドとして) (別名: 塩酸メトホルミン (メトホルミンとして))	91	0.17	0.17
[10] セリウム及びその化合物 (セリウムとして)	97	0.72	0.15
[11] タリウム及びその化合物 (タリウムとして)	7.5	0.29	0.14
[16] バルプロ酸	nd	1.7	3.1
[22] レボフロキサシン	3.9	0.44	0.44

(注1) 「nd」は不検出を意味する。